

議 会 だ よ り

No. 116
平成 30 年 1 月
発行 / 鳥取県日野町議会



12月定例会 主な内容

- ・29年度補正予算・条例 …… p 2～4
- ・28年度決算審査の取組み …… p 5～6
- ・一般質問 (3人) …… p 7～9
- ・意見交換会 …… p 10～11
- ・委員会活動報告 …… p 12～13

さあ除雪に出動だ!

菅福地区では、除雪隊を結成。高齢者世帯などに雪が降ればすぐ出動できるといふ態勢を整え、出発式を行いました。(裏表紙に関連記事を掲載)

新年のごあいさつ

議長 小谷 博徳



初春のお慶びを申し上げます。

皆様には、平成30年戌歳の新春をご健勝にてお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、高速通信情報網・有線テレビ・遊休店舗活用事業と、矢継ぎ早に施策が進められ、近隣の町にようやく肩をならべる状況となりました。地方創生の「まち・ひと・仕事」に、どのように活用し、効果が上げられるか、真価を問われる年であると思います。

急激な人口減少と高齢化は、農林業・商工業をはじめとして、各集落や自治会の活力をなくしています。この事態にどう対応できるのか、議会と行政ととりまいて、実に大きな課題であります。

一方、議員のなり手不足や、町民と議会のあるべき姿の構築等「開かれた議会」に向けた議会改革も待ったなしの状況にきています。

議会といたしましても、これらの諸課題にどのように対応できるのか、残された約1年半の任期、全議員の英知を絞り取り組んでゆく所存です。どうか町民の皆様の力強いご支援とご協力を、お願いいたします。

12月議会

平成29年第8回議会定例会は、12月7日から14日までの8日間開催。平成29年度一般会計特別会計補正予算のほか、条例の制定及び一部改正、過疎地域自立促進計画の変更、監査委員の選任、など15議案が提案され、原案のとおり可決・同意しました。

一般会計補正予算 (第5号)

補正額205万円を追加し、総額を37億1477万円とする。

- ・《歳出の主なもの》
- ・マイナンバーカード等の記載事項充実に係るシステム改修 135万円
- ・障害者総合支援法制度改正に伴うシステム改修



特産品販売コーナーも

- ・子育てワンストップ用電子申請システム導入 48万円
- ・金持テラスひの運営 175万円
- （観光振興を図るため 二人雇用）
- ・しっかりと守る農林基盤整備交付金事業 50万円
- ・町指定ごみ袋購入 387万円



被災した下管水路

一般会計補正予算 (第6号)

補正額321万円を追加し、総額を37億1798万円とする。

- ・《歳出》
- ・職員の給与等改定による 58万円
- ・農業用施設災害復旧費（下菅水路）台風21号による被災 379万円

条例

日野町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

期末手当の支給月数を100分の5ヶ月引上げ3ヶ月とする。

平成30年4月1日施行
（人事院勧告に基づく改正）

日野町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

期末手当の支給月数を100分の5ヶ月引上げ3ヶ月とする。

平成30年4月1日施行
（人事院勧告に基づく改正）

日野町職員の給与に関する条例の一部改正

議員 人事院勧告に基づいて改定することであるが、もつと抜本的な議員報酬の改定が必要な時期が近いというに來ると思われるので、現時点での議員報酬の改正は反対します。

（賛成）

議員 町村議員に成り手がないという一つの要因は、報酬等の問題もあり、根本的な見直しは必要と考えますが、このたびの改正は、その第一歩としてとらえ賛成します。

討論

（反対）

議員 住民感情からすれば、公務員だけが恩恵を受けることは、憤りを感じます。地方の住民目線に立って判断すべきであり、反対します。

（賛成）

議員 この度の改正は、人事院勧告に基づくものであり、財政難や災害発生時等には削減をしておき、今回の勧告は受け入れるべきという観点から賛成します。

日野町小集落改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

改良住宅1戸を払下げたため。

日野町過疎地域自立促進計画の変更

- ・自主放送施設整備事業
- ・文化センター大規模改修事業の2事業を過疎計画に追加する。

建設工事請負契約の締結

- ・日野町自主放送番組制作用設備工事の契約 1億543万円

質疑

議員 建設工事請負契約と業務委託契約を同時に行うべきではないか。

課長 プロポーザル方式を採用し業者選定を行った。業務委託（番組編集）については、当初予算に提案することとしており、内容等については議会や関係課等と協議・調整し、より良いものを作りたい。

意見書の採択及び提出

- ・地方財政の充実・強化を求める意見書を採択。
- 内閣総理大臣、財務大臣など関係大臣あて提出。



地域チャンネル設備

特別会計科目	補正額	総額	補正の主な理由
介護保険特別会計	62	7億1,782	電算処理システムの改修
簡易水道特別会計	41	1億7,322	電気代の追加と給与改定等に伴うもの
公共下水道事業特別会計	△18	1億5,978	給与改定等に伴うもの
農業集落排水事業特別会計	0.3	4,272	給与改定等に伴うもの

臨時会

平成29年第7回臨時会は、平成29年11月7日開催。専決処分の承認や一般会計補正予算が上程され、原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算 (第3号)

衆議院議員選挙に係る予算の専決処分の承認。

《歳出》

・10月22日執行の衆議院議員選挙費 607万円

採決の結果

全会一致で承認

一般会計補正予算 (第4号)

総額を変更しないで、財政調整基金積立金を流用。

《歳出》

・中海テレビ放送による町独自チャンネルの放送用機器の整備 1億2900万円

採決の結果

全会一致で可決



中海テレビで紹介された日野町 (提供：中海テレビ放送)

平成28年度決算審査特別委員会

指摘事項に対する 取り組み及び改善状況

一般会計・特別会計の 収入未済額

収入未済額は昨年より減少している。

新規滞納者が発生しないよう対処された。

取り組み及び改善状況

滞納については、重複滞納者が多いことから、担当課間で連携した徴収活動を継続すること。新規滞納者や、新規滞納が生じないよう滞納額が少額の段階から速やかに対処するよう努力いたします。

住宅新築資金等貸付金 災害援助資金貸付金

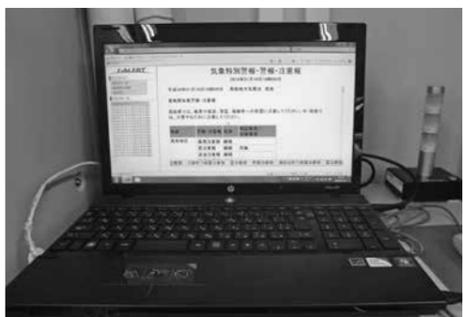
住宅新築資金等貸付金の未収金額は6200万円、災害援助資金貸付金の未収金額は1500万円となっている。

不納欠損処分

固定資産税2件、国民健康保険税2件で不納欠損処分が行われている。

取り組み及び改善状況

公平性を考慮し、慎重に取り組みたい。



緊急通報システム画面

J-ALERT (緊急通報システム)

先日、システムの不具合が生じました。

住民の安心・安全の観点からも、年間の点検回数、点検期日を再検討するなど対策を講じられた。

取り組み及び改善状況

当面、防災無線を用いた

は、地方税法に基づき執行停止、納税義務の消滅を行い、決算処理として不納欠損をしております。今後、十分な現状調査を行ったうえで取り組みを進めます。

移住者受け入れ支援補助金

補助金を活用して一般財団法人「里鳥」が開設した施設が十分に活用されていないと思われ。補助金の有効活用を図りたい。

取り組み及び改善状況

「里鳥」に対しては、施設活用に努めることを今後働きかけます。

また、補助金交付決定に当たっては、補助金交付の要件を満たしているかどうかについて、厳格に審査を行っていく。

担い手への農地集積事業

農業の担い手不足は年々深刻化しており、対策として、中間管理機構を活用しているが、十分な効果が上がっていないと思われ。関係機関との連携をさらに強化し、補助事業を十分に

取り組み及び改善状況

担い手の農地集約化に向け、関係各機構、団体、農業関係者と連携を図るとともに、農家に対する事業推進に努め、強化に取り組みます。

有利な補助金等を十分活用しながら、集積化を支援していきます。

間伐材搬出促進事業補助金

平成28年度、多くの予算残額が生じています。

森林所有者への啓発はもとより、森林組合との連携、指導を強化し間伐促進を図りたい。

取り組み及び改善状況

森林組合、森林事業体との連携強化を図り、森林所有者への啓発を進めながら、間伐促進に取り組みしていきます。事業進捗状況等随時確認を行うなど、連携して事業推進に努めます。

職員採用

一般事務職員、保健師など、将来を見据え、職員確保に向けさらに努力をされたい。

取組み及び改善状況

日野町の人口推移、財政状況等を勘案し業務の見直し、改善を進めながら当面、現職員数で運営したいと考えます。町独自の人材確保など機会をとらえ幅広く人材の確保に努めます。

事業執行

予算化した事業については、実施体制を再確認しながら、事業執行に向け取り組んでいただきたい。

取組み及び改善状況

近年、予算規模が拡大しているが、事業の早期着工・早期完成を目指し、各課職員への周知徹底を図ります。

政策成果の記入

昨年と同じ記述の事業が見受けられました。

現状分析をしつかり行い、次年度の予算編成にあたられたい。

取組み及び改善状況

所管する各施設からの聞き取りを十分に行い、予算編成時には、ヒヤリングの機会に十分な意見交換をすよう努めます。

奥日野たたらるの里づくり事業

奥日野たたらるの里づくり戦略が策定された。

今後、どのように展開するのか、具体的に示された。

取組み及び改善状況

「奥日野たたらるの里づくり実行委員会」において、関係団体による情報共有、進捗確認をしながら、よりよい取り組みが実施できるように努めます。

また、30年度当初予算編成に向けて、具体的な事業内容を検討していきます。

町政への思いを聞かせて

答 財政の再建健全化を最重点に



松本 利秋議員



子育て支援

議員 景山町長は、3期12年間の長きにわたり町政を担ってこられました。心から敬意と感謝を申し上げたいと存じます。11月7日の臨時議会で、勇退を表明されました。質問に懇切丁寧に答弁していただきました。今、走馬灯のように甦って来ます。12年間の町政への思いを聞かせてください。

町長 私は、平成18年2月町長に就任し、2期8年間

は地震の後に危機に陥った町の財政の再建と健全化を最重点に取り組みました。

実質公債費比率は全国ワースト3位の31割から、28年度決算では14割台まで戻しました。基金は20億円に。

厳しい財政の中でも、高齢者福祉対策、教育環境づくりには積極的に取り組みました。

3期目は子育て支援と教育、若者の定住促進、保健・医療・福祉の連携を最

重点にし、高速プロードバンド事業の実施、「金持テラスひの」のオープンなどに努めてきました。

民生児童委員の欠員地区への補充を

議員 民生児童委員は、高齢化が進んでいる地域は、特に福祉の担い手として必要です。委員がいない地区は、地元の協力をいただき



民生児童委員の欠員地区に早急な補充を

早急に補充する必要があります。

町長 ご指摘のとおり奥渡、津地・安原、根雨6区の3地区は民生児童委員が不在となっております。

地域の中で、民生児童委員は、今後一層存在が求められると見られます。どうか住民の皆様、ご理解とご協力をいただきますよう、この場を借りてお願いします。

総括意見

財政健全化判断比率については、4指標全てで早期健全化規準の数値を下回り、財政の安定化が着実に図られています。

健全化に取り組んだ成果と評価します。引き続き将来予測を十分に見通しながら、財政推計を基に起債借入れを行い、気を引き締め対処されたい。

取組み及び改善状況

町財政の現状は、28年度実質公債費比率は14割台、基金は20億円近く積み上げなど財政の安定化に努めます。

今後も財政推計を基本に社会資本整備の拡充や地域を活性化する施策を図ることにより、安全・安心で住みやすいまちづくりを推進していきます。

町公舎に展示されている高殿模型





安達 幸博議員

英語教育の強化策は

答 英会話ができる子に

議員 小学校3年生から英語の教科が始まります。教員の英語指導研修の実施について尋ねます。

教育長 小学校教員は教員養成課程で英語について学習をしていますが、英語の指導力の強化の研修を重ねていきます。

議員 これは日野町だけの問題ではなく、県の教育委員会が考えることだと思います。

ます。本町の英語教育の特徴づくりをお尋ねします。

教育長 ICT機器を使い直接外国人と会話をする活動を取り入れ、全ての児童生徒が英語で会話ができるように育てたいと思います。

議員 本年度から開設した公営塾講師のスカリー先生の力を借り、日野町を鳥取県の英語教育の先進地にす



塾を見学する職員

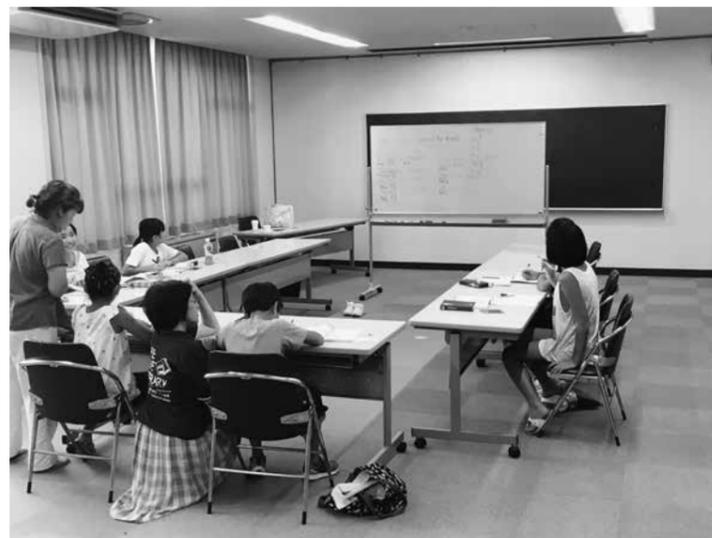
教育長 鳥取大学に教育学部がなく、教員養成課程がありません。

スカリー先生は、元九州大学の教授です。今でも九州大学と交流があるようです。九州大学の教授が日野町にきたいと伺っています。スカリー先生と共に英語教育の拠点づくりについて模索してみたいと思います。

議員 小中学校でも留学制度、ホームステイ、修学旅行など生の英会話を体験させることはどう思いますか。

教育長 スカリー先生は、生の英語に直接触れ合って勉強させたいとの持論から留学を推奨されています。本町教育委員会として、中学校の修学旅行で英語圏

の外国に行かせるとか、小学校の教員の指導力強化のために、先生の研修で外国にいかせるのも方策ではないかの議論を進めています。



日野町公設塾「寺子屋」

雇用数の達成見込みは

答 目標達成に向け進めたい



山形 克彦議員

「金持テラスひの」の活用は
議員 コメリが契約されている進入路付近の借地の供用に伴う協議結果はどうですか。

町長 進入路を確保するため借地の一部を町との契約に変更したい旨をコメリに依頼したが、借地単価の違いもあり合意に至らず、相互通行と駐車場利用について協定の締結を行いました。

議員 この事業は、空き家を有効活用し、賑わいと雇用の創出が目的であり、事業が終了する平成32年度末までに雇用数35人の目標の達成見込みはいかがですか。

町長 雇用の創出、賑わいは計画だけでは実現できない。「金持テラスひの」の各店舗も動き始め、これを拠点に雇用の創出、人口減少をいかに食い止めるか、一丸となって目標達成に向け進めたい、そういう段階と思っています。



金持テラスひの

議員 コメリが借地されている土地も舗装改修等が行われたが、過剰な投資ではないですか。

町長 非常に良いものがありました。過剰投資なのかの判断は後世に委ねてみたいと思います。



オープンスペース

改修、ケーブルTVの整備など一時的に10億円近い多額の支出は、いつかの時点で財政に影響があると思うが、過度の支出を控えるべきではありませんか。

町長 投資すべき時には投資し、そのため基金も積んでいる。十数年前の財政破綻は恥ずべきことで、そうならないよう財政推計を立てて進めているので、ご理解をお願いします。

今後の財政見通しは

議員 財政基盤の弱い当町で「金持テラスひの」の大

町民の声を議会に反映

町民の皆様と意見を交換し議会活動に反映させることは議会の責務です。

- 未収金の回収に向けた取り組みを聞きたい。
- 危険家屋があるが対策はどうなっているか聞きたい。
- 地域おこし協力隊は十分に活用しているか。募集の際、活動のミッションを明確にする必要があるか。



根雨会場



地域おこし協力隊活動報告

意見交換会を開催

期日 平成29年11月29日 19:00~21:00
 場所 山村開発センター（根雨）、公民館（黒坂）
 出席 根雨会場6人、黒坂会場10人（議会は2班に分かれて、各会場に5人ずつ）



黒坂会場

日ごろの議会活動を町民の皆様にお伝えすることと、町民の皆様の声を直接お聞きして議会活動に反映することは、議会の重要な責務の一つであります。当日は、議員は各会場5人ずつ2班に別れて対応しました。町民の皆さんの参加は、山村開発センター6人、公民館10人でした。

まず議会から各委員会の最近の活動について報告し、また、出席の皆様からの提言とご意見をお聞きしました。いただいたご意見のいくつかをご紹介します。

○このような意見交換会を、もう少し頻度を上げて開催していただきたい。やや拍子抜けの参加者であったが、参加者が少ないことについて開催方法などの工夫が必要ではないか。集落単位での開催も一案。

○ケーブルテレビに日野町独自チャンネルが入ること、議会中継もあることに期待する。一方、ケーブルに加入しない人についての対応が必要ではないか。

○地域の自主防災活動と現場との連携が必要と思う。

○元サンプラザの土地問題はどうか。
 JRの線路沿いにサンプラザ裏に通じる道があるが、その現状を聞きたい。

○農業支援は大規模営農の方に向いていると感じる。小規模・小人数での営農ももう少し手厚く支援してもらいたい。

議会としましては、いただいたご意見を十分に参考にさせていただき、必要なことは執行部にも伝えるとともに、今後も町民の皆様により開かれた議会の実現を目指して検討を重ねていく所存であります。また、町民の皆様と議会との意見交換会開催等につきまして、今後は「議会改革推進特別委員会」で継続的に検討をすすめてゆきます。



黒坂自主防災活動

今回の意見交換会の町民の参加者は、前述のとおり根雨会場6人、黒坂会場10人といささか期待外れで寂しいものであります。このことにつきましては、議会といたしましては、日ごろの広報活動について大いに反省し、議会広報活動の今後のあり方について検討をする必要があると考えます。

研修会報告

鳥取県町村議会議員研修会

平成29年11月24日
 北栄町

講師 明治大学

名誉教授 中邨 章氏

講師

テレビ朝日コメンテーター 河村 晃司氏

研修内容

地方議会人の挑戦

概要

中山間地の町村が抱える山積する問題と課題について、地方議会の「議会革命」を進めなければならぬとの内容でした。



日野町の魅力を聞く

平成29年12月12日

今夏、東京富士大学の学生がホームステイをしながら取り組んだ「日野町魅力化プロジェクト」について、側面的に支援をされた、日本総合研究所の研究員の皆様より話をききました。

過去2年間の取り組みでいただいた提言の中で、高速通信網の整備、ひまわり迷路、おしどり婚姻届が実現できました。



魅力化プロジェクトのメンバー

農業振興・観光大使制度を調査

〔総務経済常任委員会〕

総務経済常任委員会は、11月20日～21日岡山県久米南町と広島県神石高原町に行政調査に出かけました。

久米南町では、農業振興策を主題に農地保全と担い手の育成、農地の利用集積などについて研修・意見交換しました。

ブドウ・キュウリは1億円以上の生産、水稲・アスパラ・イチゴ・白菜・ユズの生産も行っています。

本町と同じで、高齢化の中、後継者不足で荒廃農地も増加しています。

林業は70％の林野率、30％が人工林です。



神石高原町では「ピースワンコ・ジャパン」の活動を視察、犬の殺処分ゼロを目指し、全国的な活動を行っています。

災害救助犬・セラピー犬等の育成も行い、譲渡センターが関東4か所、関西・福山・広島とあります。資金はふるさと納税の使用目的を明確にして6億円を集め、その95％を活用しています。Iター



ピースワンコ・ジャパン本部 (神石高原町)

ンを含めスタッフが60人、獣医3人、ヘリコプター2機で災害救助も行っています。活動規模の大きさ、広がりを見張るものでした。

その後、神石高原町の観光協会でも研修を行いました。

観光大使は2人を指名、NPO法人吉備工房の代表が全国で講演する際に、地元を宣伝。ザ・ニュースペーパーの芸人起用は、地元出身者を採用し、年間6回60万円で契約。グッズのデザインやトークライブなどの出演料を払っています。観光協会の9割は補助金で運営、協会が主体的に5人で活動しています。

高校の魅力化を調査

〔教育民生常任委員会〕

平成29年10月25、26日、教育民生常任委員会は、島根県津和野町・県立津和野高校、邑南町・県立矢上高校に、高校魅力化ビジョン策定並びに高校魅力化コーディネーターの活動についての行政調査に行きました。

2町、2校に共通して感じたことは、人口減少に伴い生徒数が減少し、県立高校のことはあるが、高校存続の危機感があります。高校は定住化など地域の発展、活性化のためには欠かれないことや、地域を担う人材育成に必要な教育機関であるなど問題意識を持っています。

島根県教育委員会が高校魅力化を推進していて、行政、高校、教員も魅力化意識が共有され、一体となった取り組みがなされている。

行政から高校へ、金銭を含めた支援を行い、また支援組織も構築しています。

生徒数が増えるなど成果ができています。

学力向上と希望進路を促すため放課後の自主勉強に先生がきめ細かく個人指導しています。

さらに、これらを補完する役割を「地域おこし協力隊」が担っています。

本町と同じ状況の過疎の町が中学生の減少に直面しており、その対策に留学制度の導入で対処し、進路保証を担保するため高校魅力化コーディネーターと行政が公営塾運営など連携プレ



津和野高校で意見交換



矢上高校の調査

1で推進しています。

存続の危機感をばねにした高校の魅力化向上の実践に関しては、鳥取県と比較して鳥根県は数歩も進んでいます。

背景には、鳥取大学の教育学部が鳥根大学と統合され、なくなってしまうことが考えられるのではないかと思います。

日野高校が地域に対して賑わい、活性化、定住化などのまちづくりに貢献していると再認識をしました。

今後は、支援制度を考え、町等の補助金の受け皿組織を作ることが必要と考えます。

そのためには行政・地域と高校が一体となり、共通目標、認識をもったビジョン策定が必要と強く感じた調査でありました。

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介しています。

支え合いで安心社会

菅福除雪隊

今年も降雪の季節がやってきました。

高齢化した地域では、雪が降ると、心細い気持ちで



除雪場所の協議

日々を過ごすに不安な声が多聞きます。菅福地区では、地域の不安を少しでもなくしようと、3年前に除雪隊を結成。高齢世帯の不安解消の一助になればと、



除雪活動を始めました。

メンバーは、地区民生委員や、除雪ボランティアが可能な人、地域おこし協力隊員9人で、菅福自主防災除雪隊を結成しています。

15〜20センチ以上の降雪があれば5班に分かれて、それぞれが除雪機や除雪用具をもって出動します。昨年は菅福地区で11回延べ165世帯の除雪を行いました。

朝早い時間の仕事でありませんが、手をすり合せ、時には涙を浮かべて「ありが

とう」と喜ばれる一声に感動を覚え、継続のエネルギーとなっています。

「地域をどう守るか」防災訓練を毎年行っています。

自主防災の基本は、地域コミュニティをどう醸成するか、災害時を問わず日常生活時に、触れ合い・支え愛の手が自然と差し出せる地域づくり、にあります。

みんなで支え合う心こそ、地域で安心して暮らせる大切な要素だと思います。

昨年は10回延べ170世帯菅福地区外の高齢世帯の除雪も行いました。今後も元気邑所属の地域おこし協力隊を中心に、全町に向けた支援へ挑戦しています。

民生委員 小谷 悦雄

あとがき

明けましておめでとうございませう。

今年もよろしくお願いたします。

正月三が日を挟んでの編集作業は大変でしたが、一日も早くみなさんにお届けするために作業を急いで行いました。

今年の1月は大雪で国道もあちこちで渋滞を起しました。

寒さの厳しい中での除雪作業も危険がいっぱいですが、事故がなく春を迎えられることを祈ります。

委員会は、今年も「意見交換会」などみなさんのお世話になることも多いことと思ひます。

ご協力お願いいたします。
(佐々木 求記)

議会広報常任委員会

委員長 松本 利秋
副委員長 松尾 信孝
佐々木 求

小谷 博徳
金川 守仁
山形 克彦